

被災地特産品 お中元いかが

支援の有志がネット販売

東日本大震災で被災した岩手県北三陸地域の特産品を詰め合わせた中元向けセットのインターネット販売を、被災地の中小企業を支えようと集まった企業経営者有志のグループ「チームともだち」が始めた。代金のうち五百円はボランティア団体に寄付する。同チームは「地元企業、住民、ボランティアの力になりたい」としている。(加藤益文)

援イベントを手伝った際、この地域の特産品が流通上の問題で、全国各地で開かれる東北支援フェアで販売されていないことを知って発足させた。セットの中身は野田

村と久慈市、洋野町、牛利一さんらに選んでもらった。このうち同村特産の塩を使ったあめは、製造工場が津波で流されたが、かろう

じて被災を免れた在庫をかき集めた。震災前に三陸海岸で採れた昆布の加工品のほか、ワカメ、海藻スープ、ヤマブドウなども詰め合わせた。購入者には被災者からのお礼の手紙を、贈

代金一部 付部 北三陸からの手紙も



登内義也さん

岩手県野田村特産の塩や三陸の昆布などが入った中元セット

同チームは雑貨製造卸売業「バイヤーズ」(東京都渋谷区)社長の登内義也さん(四巴)の呼び掛けで発足した。関東、東海、北陸地方などから数十人の経営者らが集まり、得意分野を生かして七つのプロジェクトを進めている。

り先には被災地のPR文を届ける。「あまり注目されることのない小さな被災地を忘れないでほしい」(登内さん)との思いからだ。ボランティア団体への寄付により、震災から三カ月が過ぎ疲労の色が出つつあるボランティアを、継続的に支える仕組みをつくりたい

という。詰め合わせの価格は三千五百円、四千二百円、五千二百五十円の三種類。それぞれ限定百セット。単品の注文にもできる範囲で応じる。注文はホームページ「三陸北リアス産直市場」= <http://uri-kata.com/> で受け付けている。

「中元プロジェクト」は、五月に同県野田村で行われた復興支